

進蔵朝佛記（甘肅のみ掲載）

タイトル	進蔵朝佛記（甘肅のみ掲載）
著者名	能海寛
雑誌名	能海寛研究会機関誌『石峰』
号	第4号
ページ	12-14
発行年	1997.7.20
E-mail	Sekihou@hazaway.com(能海寛研究会)

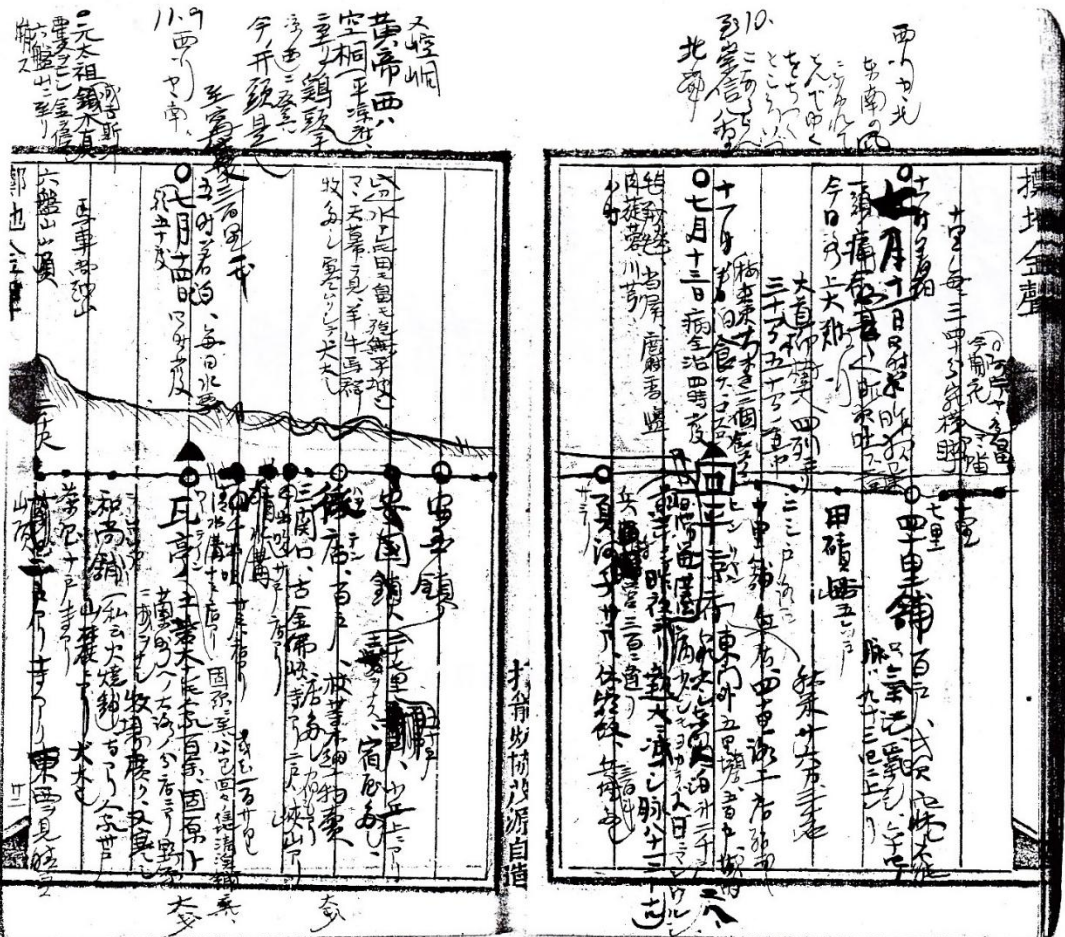
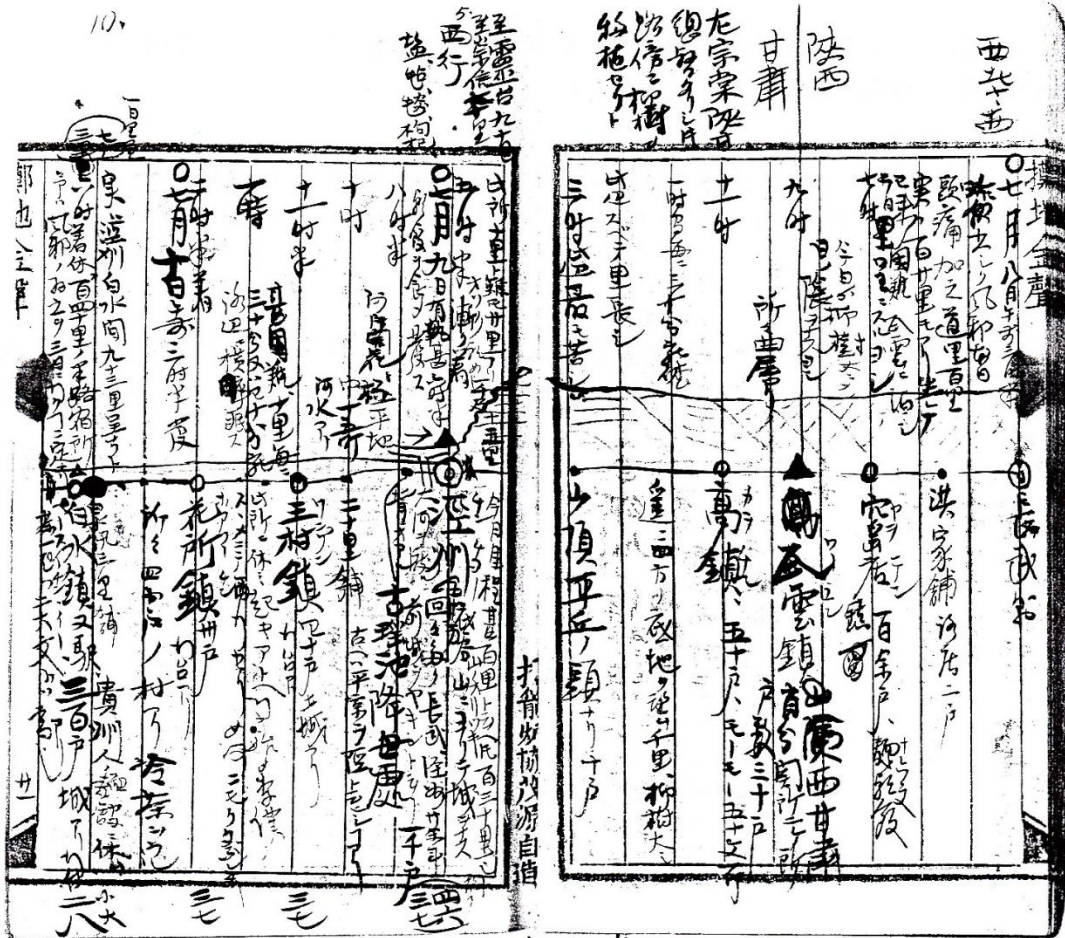
ISSN 1883-4183



中国僧姿の能海寛

能海 寛 略歴

能海寛 法名法流。 石峰と号す。明治元年5月18日島根県浜田市金城町長田（当時は東谷村）淨蓮寺に生まれる。12歳で得度し、慶応義塾と哲学館に学ぶ。恩師南條文雄師の意思を継ぎチベット探検の論文『世界に於ける佛教徒』を発表すると共に語学の研究と山岳登山による体力の練磨をなす。郷里にあつては地方史を編纂して和歌を詠み、益田沖の高島にて寺小屋を開設する。哲学者、探検家、宗教家として釈迦直伝の大藏經の經典を求め英訳經典世に出す目的で当時鎖国中であつたチベットへ求道のため身を挺し仏教巡礼探検を実践した功績は偉大で有言実行と用意周到さは後世に幾多の教訓を残す。その苦難の34年の生涯に「般若心經」西藏文直訳（梵・藏・漢・英）など四巻が著書として永遠に伝う。

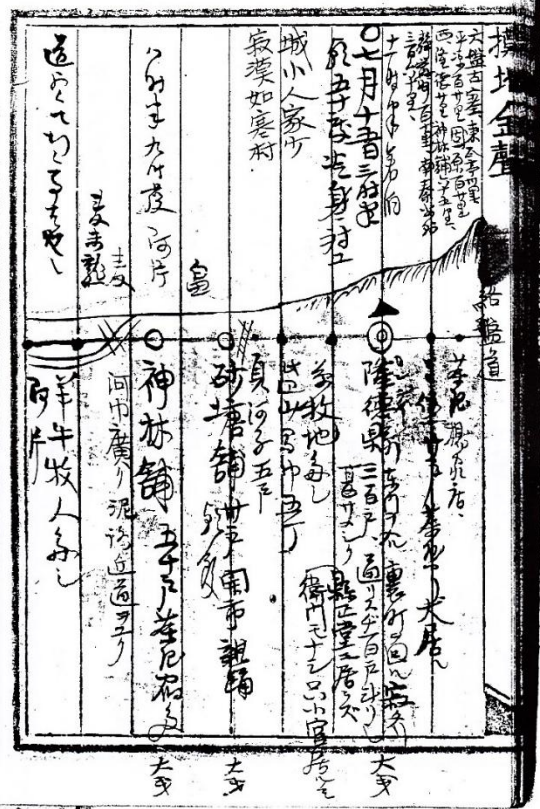


○日有美赤
一城小官大
二城小官大
三門小官大

11.9 西行
降雨

11.9 西行
降雨

西



7.18 西行

11.9 西行

晴

11.9 西行
降雨

11.9 西行

